

市政の取組状況について

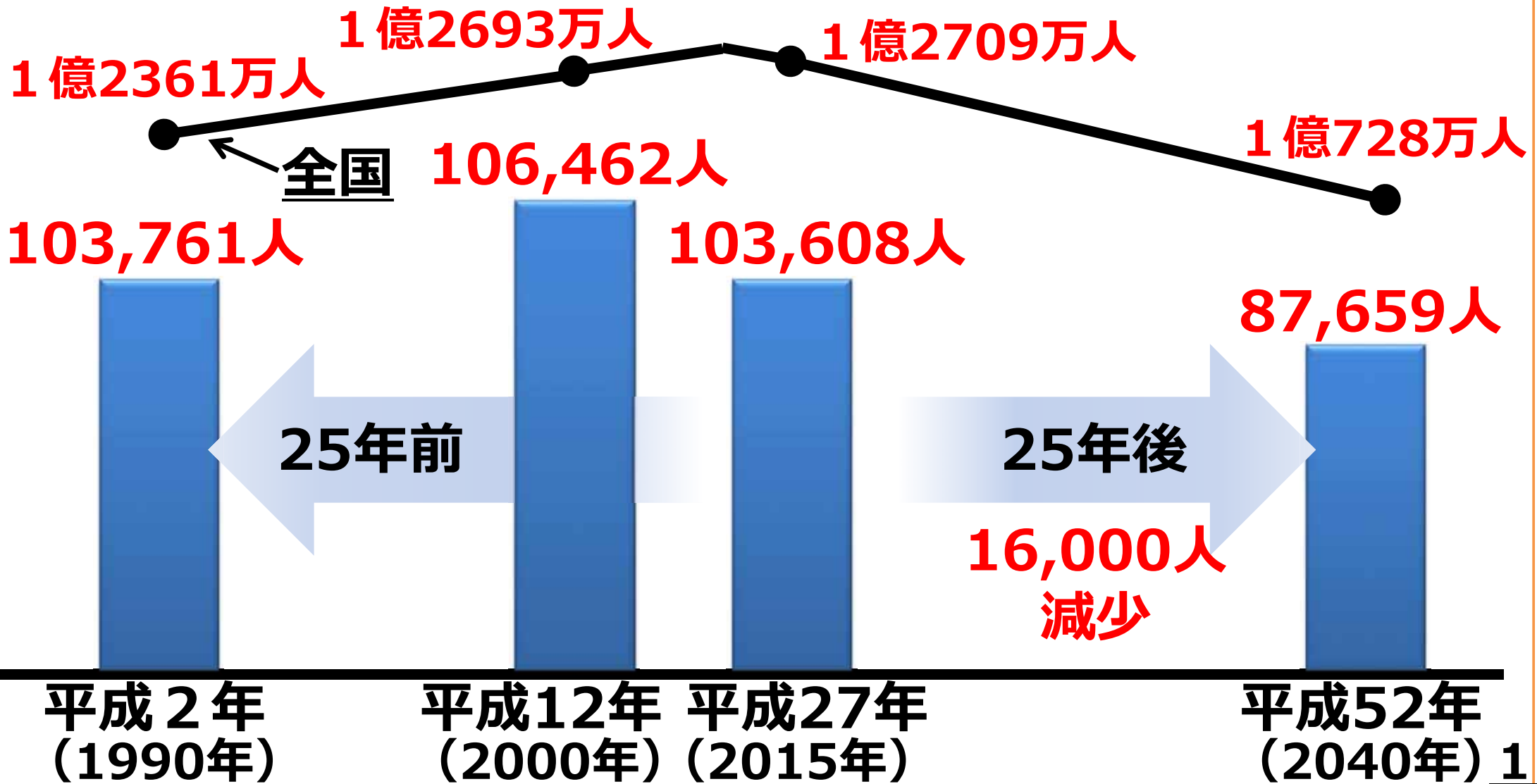
平成28年11月
鹿屋市

鹿屋市の現状



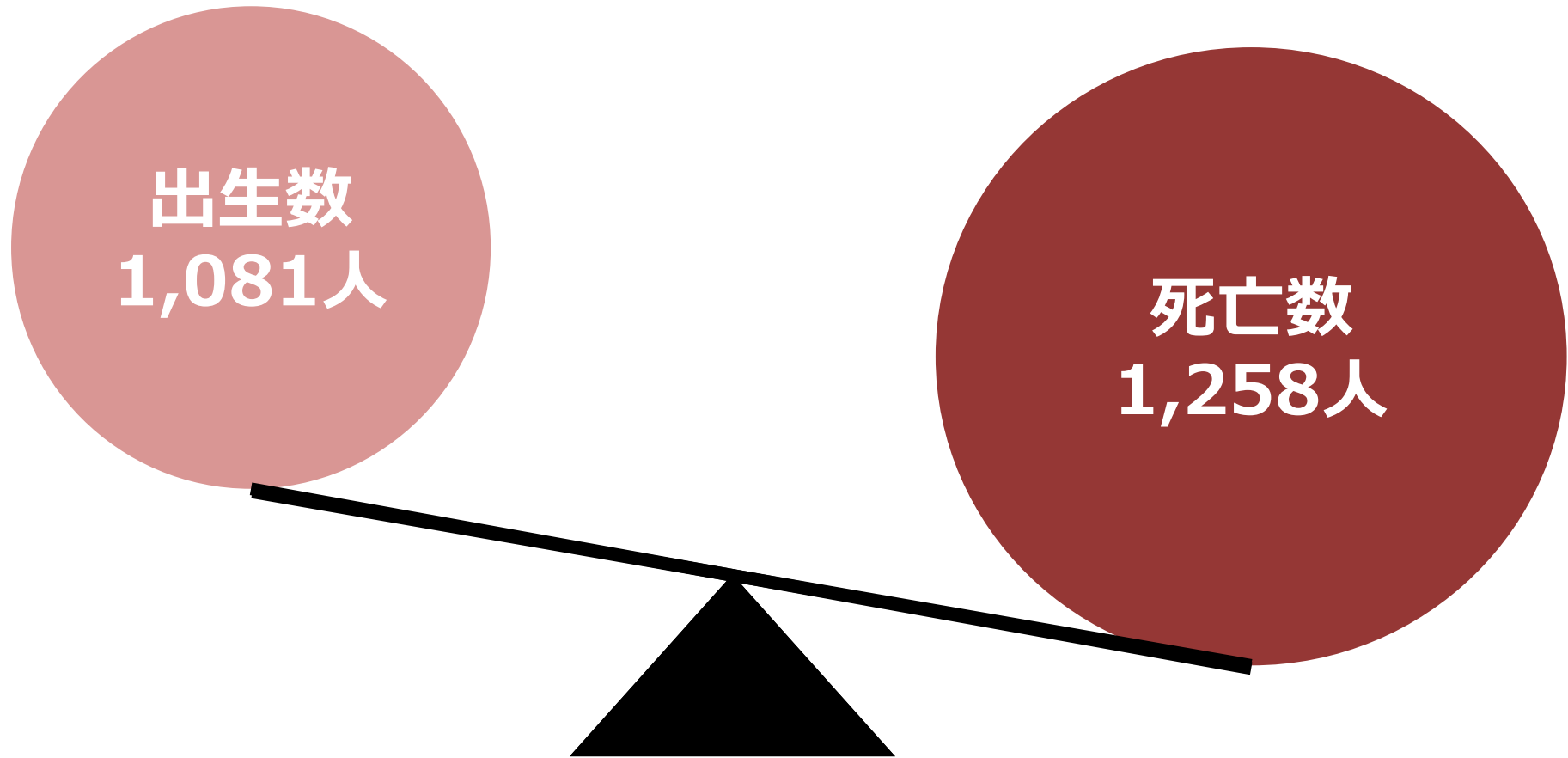
鹿屋市の人口と将来予測

- ◆鹿屋市の人口は、平成12年ごろをピークに減少。
- ◆このまま推移すると、平成52年には8万7千人まで減少。



■ 鹿屋市の人口動態

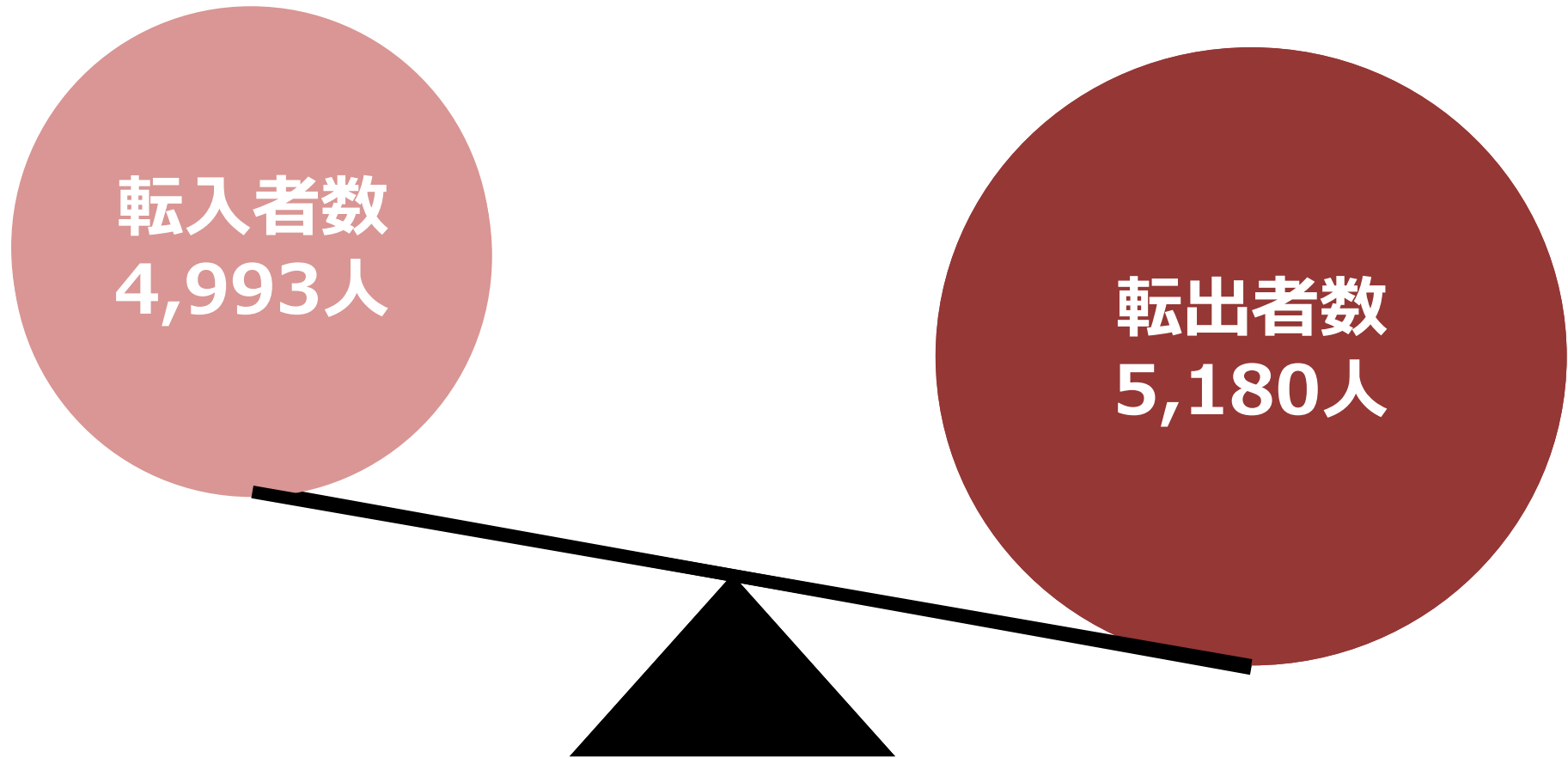
- ◆ 自然増減：死亡数 > 出生数（自然減の状態）
- ◆ 社会増減：転出者数 > 転入者数（社会減の状態）



自然減 △177人（平成27年）

■ 鹿屋市の人口動態

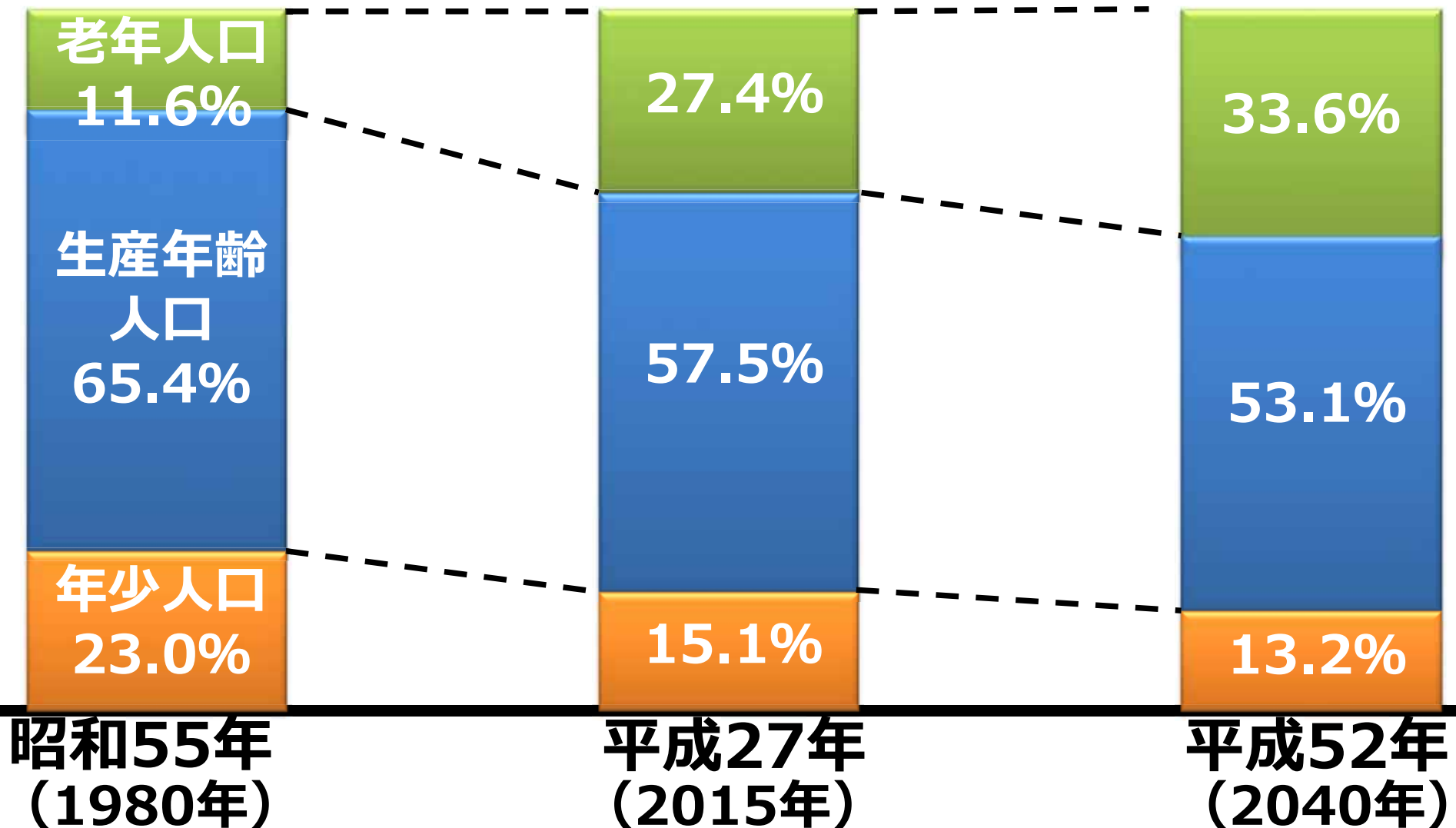
- ◆ 自然増減：死亡数 > 出生数（自然減の状態）
- ◆ 社会増減：転出者数 > 転入者数（社会減の状態）



社会減 △187人（平成27年）

■ 高齢化率の推移

- ◆ 老年人口（65歳以上）は一貫して増加傾向。
- ◆ 平成12年から年少人口（14歳以下）の数を逆転。



■人口の将来展望

◆今後の重要課題

「一定程度の人口の維持」と「高齢化社会への対応」

働く場の確立・拡大

- ・若年層の流出抑制
- ・高齢者の活躍促進
- ・移住・定住の促進

子育て環境の充実

健康寿命の延伸

など

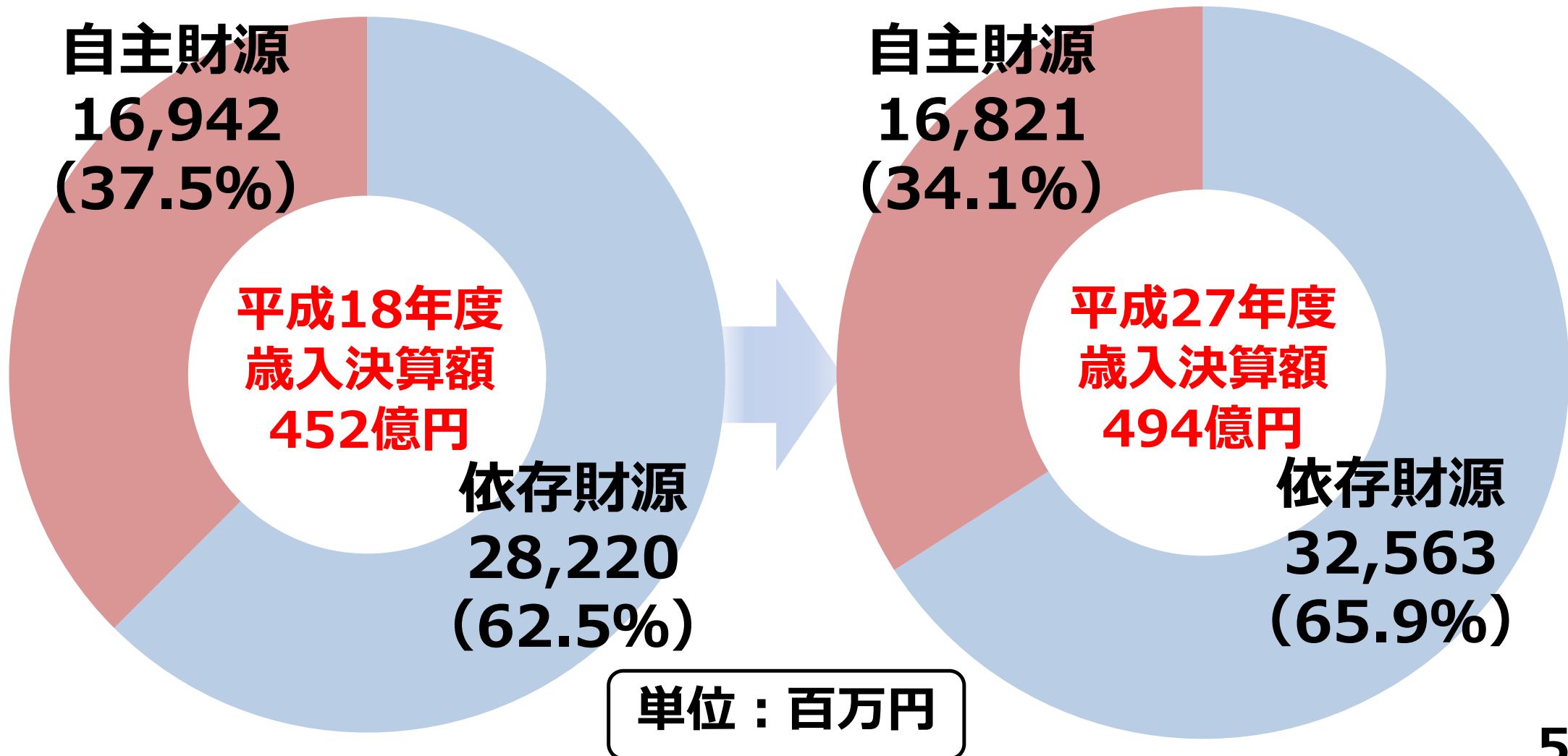
【人口の将来目標】 2060年に9万人程度の人口を維持

合計特殊出生率2.1

人口移動（転入・転出）の
均衡（±0）

■ 鹿屋市の財政状況① (10年前との比較)

- ◆ 歳入全体は増加。
- ◆ 歳入に占める自主財源の割合は減少。



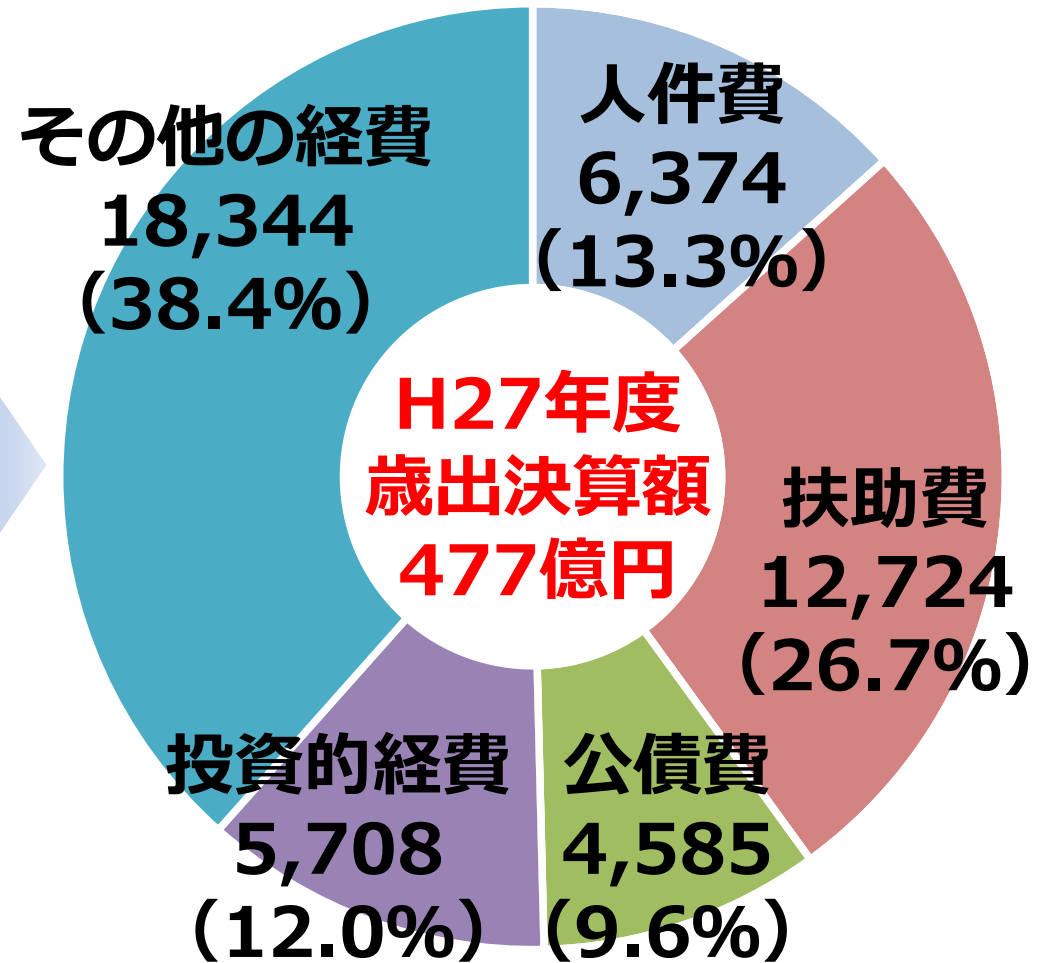
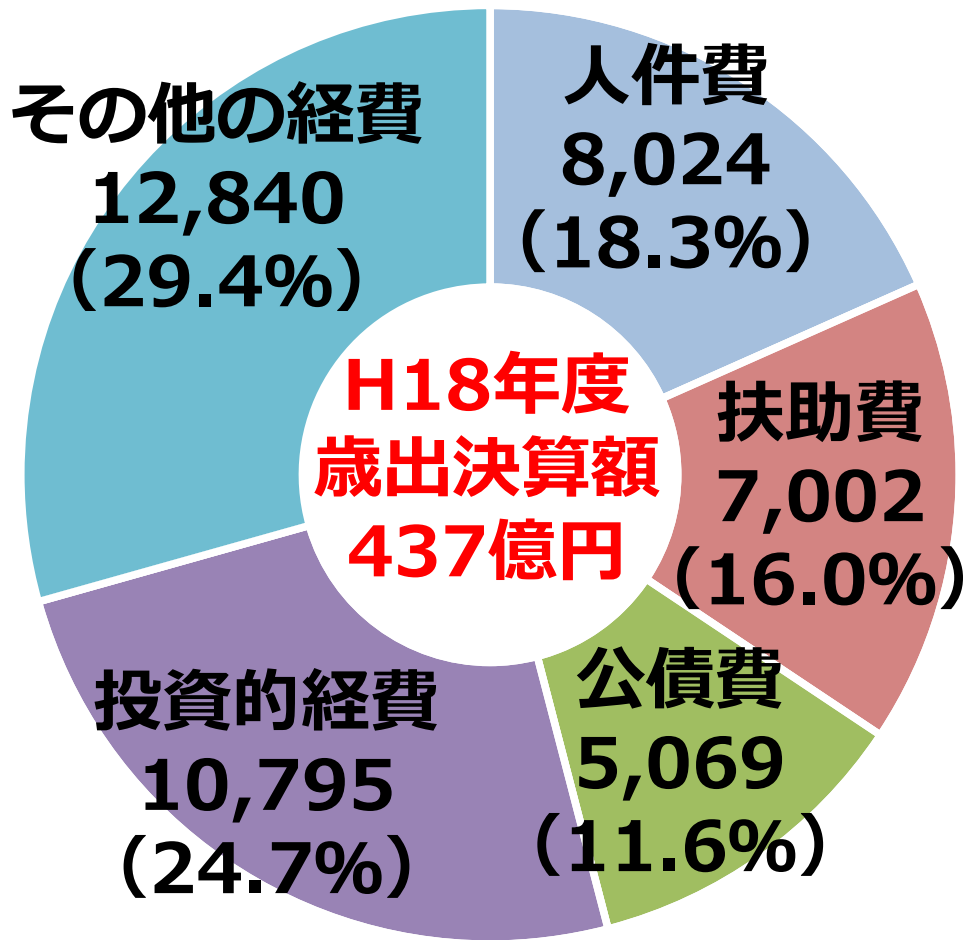
■ 鹿屋市の財政状況②（類似団体との比較）

単位：円

H27歳入決算		鹿屋市	薩摩川内市	霧島市
人口		103,608人	96,076人	125,857人
面積		448.38km ²	682.94km ²	603.18km ²
自主財源	市税	104億	123億	153億
	繰入金	20億	31億	24億
	その他	44億	54億	59億
	小計	168億	208億	236億
依存財源	地方交付税	136億	173億	164億
	国・県支出金	123億	127億	126億
	市債	41億	35億	63億
	その他	26億	26億	34億
	小計	326億	361億	387億

鹿屋市の財政状況③ (10年前との比較)

単位：百万円



■ 今後の財政運営

◆ 今後の重要課題

持続可能な健全な財政運営の確立

財源の確保

- ・ ふるさと納税
- ・ 広告事業の推進
- ・ 市税の収納率向上
- ・ 未利用財産の
売却・活用
- ・ 基金の運用 など

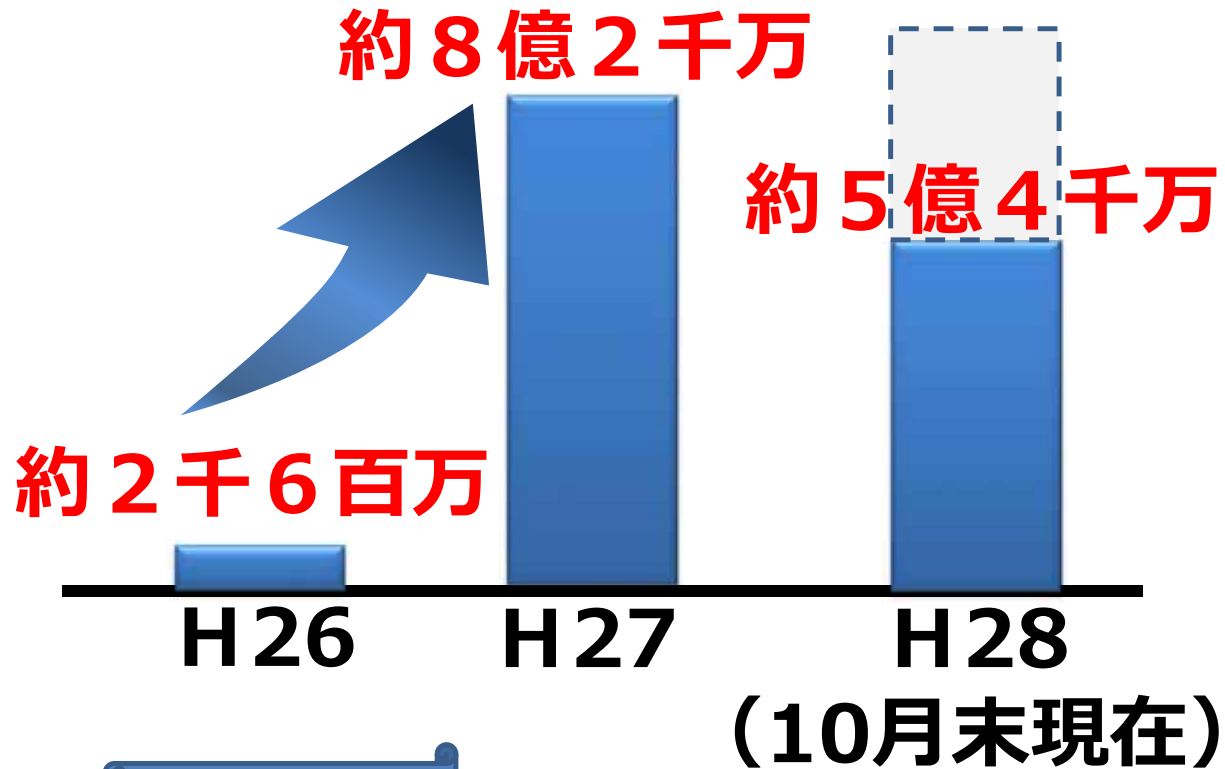
歳出の抑制

- ・ 予算の重点化
- ・ 職員の定員適正化
(人件費の抑制)
- ・ 広域連携の推進
- ・ 公民連携(PFI等)
など

■ 行財政改革の主な取組状況①

○ ふるさと納税の推進

＜ふるさと納税額の推移＞



参考①

納税額ランキング (H27)
全国36位、県内2位

参考②

人気が高い返礼品



■ 行財政改革の主な取組状況②

○ 広告事業の推進

【主な取組】

- ・ 広報かのや広告
- ・ ごみ袋広告（H27～）
- ・ 庁舎内広告など

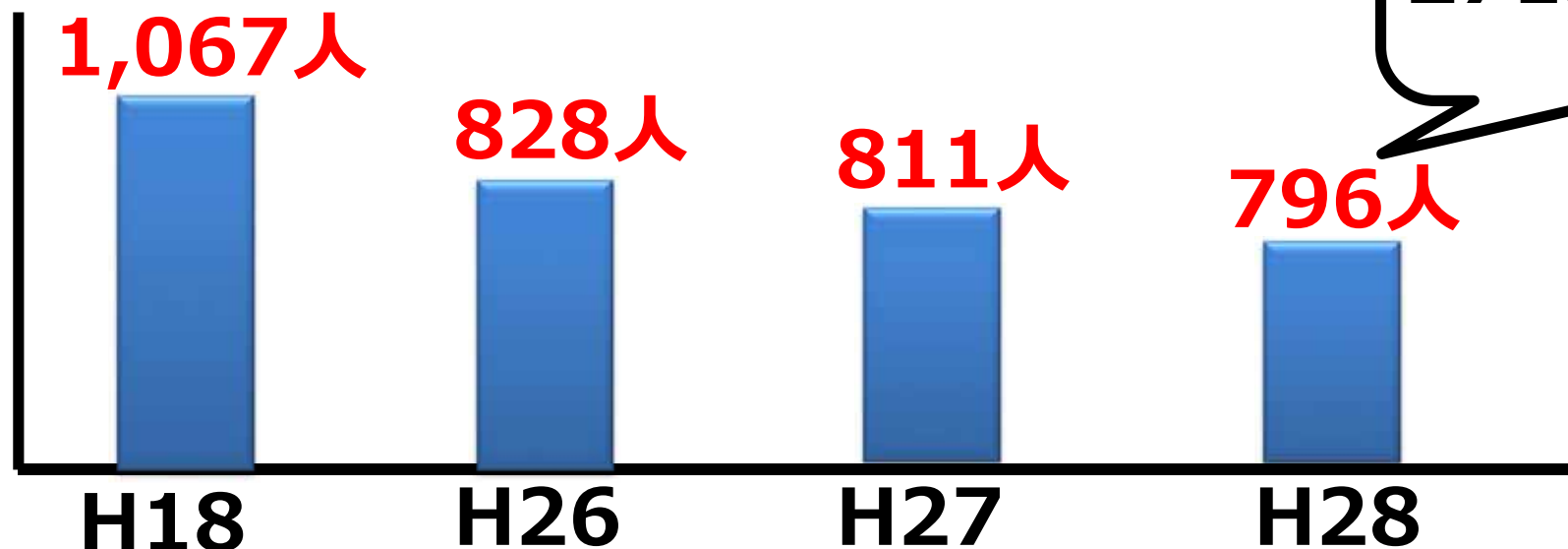
【広告料収入】

H26:約310万円

H27:約370万円

○ 職員の定員適正化（人件費の抑制）

【職員数の推移】



合併後10年で
271人減

■ 行財政改革の主な取組状況③

○ 学校跡地の有効活用

＜活用手順＞ ①地域利用意向調査の実施（意向確認）⇒
②本市での活用検討⇒③利活用希望者の公募

【利活用実績】

- ・ **平南小学校跡地**：さつま芋出荷場
- ・ **神野小学校跡地**：交流拠点施設整備

○ その他市有財産の有効活用

- ・ 輝北総合支所内空きスペースに
百引郵便局を移転
(H28.3.28開局)
- ・ 吾平町鉄道史料館跡に基幹型
地域包括支援センターを設置
(H28.4月)



▲ 百引郵便局

**「もっと身近な、もっと熱い、
もっと分かり易い」
市政運営の取組**

■ 市政運営の基本姿勢

豊かさと温もりを実感できる
“市民が主役の明るい未来づくり”

『もっと身近な、もっと熱い、もっと分かり易い』
市政運営

本気で語ろう会

市民の声直行便

市政モニター制度

高校生議会

地域おこし協力隊

職員の相互交流

外部人材の活用

■本気で語ろう会

- ・子育て世代のお母さんたちや、地域おこしのグループなど35回の意見交換
- ・市民のみなさんの生の声を市政運営に反映



▲輝北子育てサロン
てるぽっく



▲田崎校区を考える会

■本気で語ろう会

【主な対応状況】

語ろう会での意見①

- ・ **子育て支援施設の設置について**



【その他の取組】

妊娠、出産、子育て期までの総合相談支援を行うため市保健相談センター内に、「子育て世代支援センター」を新たに設置(H28.4月)

▲ふれあい広場ぽかぽか設置(H28.6月)
(輝北ふれあいセンター内)

■本気で語ろう会

【主な対応状況】

語ろう会での意見②

- ・ **高隈登山に係る整備、トレイルランの実施**



整備予定(H28中)

- ・ トイレ設置
- ・ 駐車場整備

▲第1回高隈山ピーク・ハント・トレイル(H28.2月)

■本気で語ろう会

【主な対応状況】

語ろう会での意見③

- ・ **歩道がなく、通学や地域住民の利用にあたり危険**



▲路側帯カラー表示(H27)

【その他の取組】

小学校周辺の横断歩道の
カラー化等を実施

H28:5つの小学校(予定)

市民の声直行便

市民の皆さんから市政に関するご意見やご提言をいただくための提案制度（全てHPで公表）

市民提案件数：281件
（平成26年7月～28年7月）

＜内訳＞

- ・ 提 案：54件
- ・ 要 望：79件
- ・ 意 見：72件
- ・ 苦 情：76件



▲直行便専用ポスト
(本庁舎、総合支所に設置)

■市民の声直行便

【主な対応状況】

市民の声①

- ・市役所駐車場のラインが見にくい！

ライン部分の洗浄を実施



洗浄後



市民の声直行便

市民の声②

- ・ 庁舎内に市民が使えるコピー機がなく不便！

コピーサービスの開始

市民の声③

- ・ 職員の勤務態度・
接遇態度が良くない！

苦情等の事案を全職員で情報共有し、改善を図る。

市民の声④

- ・ 道路沿いの樹木が邪魔！（ロードミラーの視界不良等）

樹木伐採の実施

■ 高校生議会

市内6高校から19名の生徒が参加して高校生議会を開催。
(平成28年8月開催)

県内初の
取組！

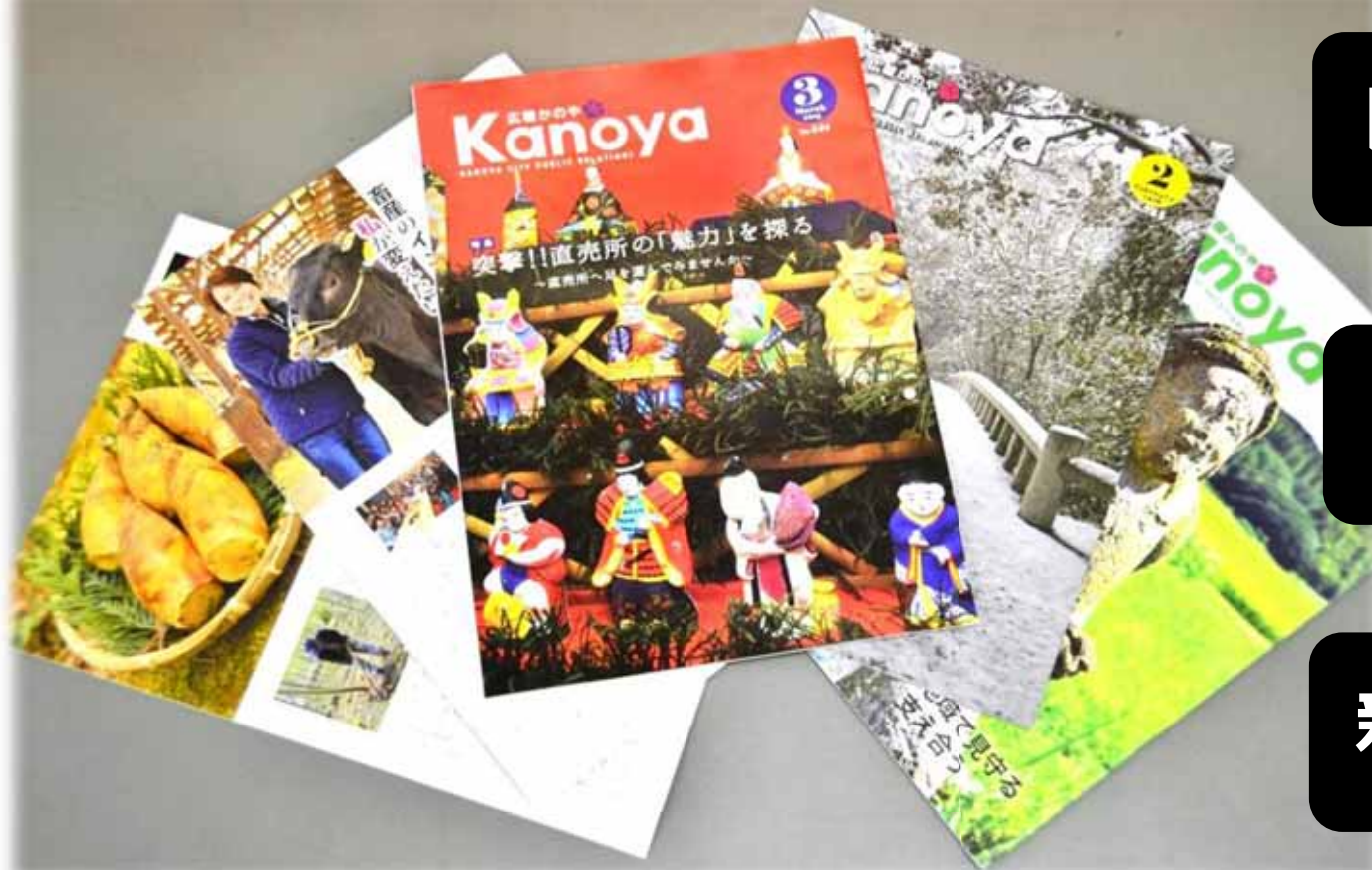


畜産業の発展を妨げずに
臭いの問題を解決するた
めの対策は？

デコボコした道や歩道の
幅が狭いところが多い。
安全に登下校できるように
してほしい！

■ 広報かのやリニューアル

- ・ より分かりやすく、伝わる広報誌へ



レイアウトの刷新

市民を主役とした
記事の掲載

新企画のスタート

▲平成27年1月号から
広報誌をリニューアル

■ 地域おこし協力隊

- ・ 地域おこしの新たな担い手として、
新たな視点や発想による地域活性化の
取組を推進

現在10名が
活動中



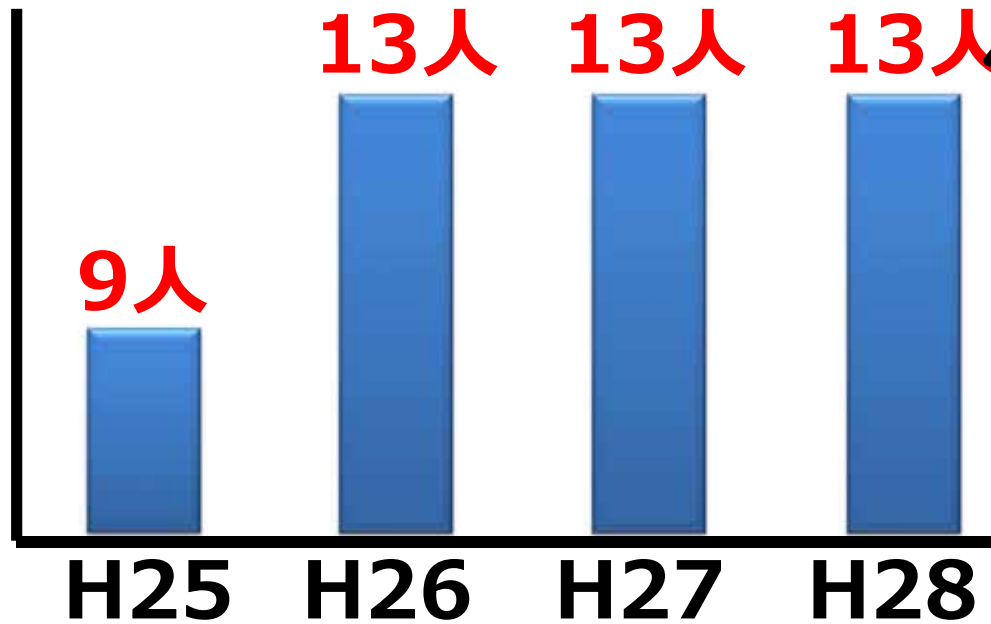
▲かのやカンパチ等のPR活動



▲地域木材を活用したものづくり

■ 職員の相互交流

職員の派遣実績



- ＜主な派遣先(H28)＞
- ・ 国（農林水産省など）
 - ・ 鹿児島県（観光課など）
 - ・ 一般財団法人
地域活性化センター
 - ・ 株式会社岩田産業 など

外部からの受入実績

農林水産省（1名）、鹿児島県（3名）、弁護士（1名）

行政運営の
活性化

知識・技術・
経験を高める

熱意・思いを
培う

■ 外部人材の活用

・ 外部人材の専門的な視点によるまちづくりの推進



◀ 大隅広域観光コーディネーター 石田 一彦氏

- 主な経歴：門司港レトロ商業開発
- 主な取組：広域観光プロデュース
観光振興の人材育成

◀ タウンマネージャー 加藤 寛之氏

- 主な経歴：丹波市、伊賀市など
全国各地のまちづくり
- 主な取組：中心市街地活性化に
向けた基本構想づくり
など



**戦略① 雇用と所得につながる
産業をおこすまちづくりの取組
(産業振興)**

■ 鹿屋市の市民所得と産業振興

2016.11.4 「鹿屋市「市政報告会」資料」資料
第二次産業(製造業等)の
生産額が鹿屋市の約2倍

< 鹿屋市の市民所得 (H25) >

	鹿屋市	薩摩川内市	霧島市
市内総生産額	3,221億円	3,516億円	4,325億円
市民所得	2,298千円/人	2,453千円/人	2,515千円/人

生産額に大きく寄与する第二次産業（製造業等）の
割合が低い

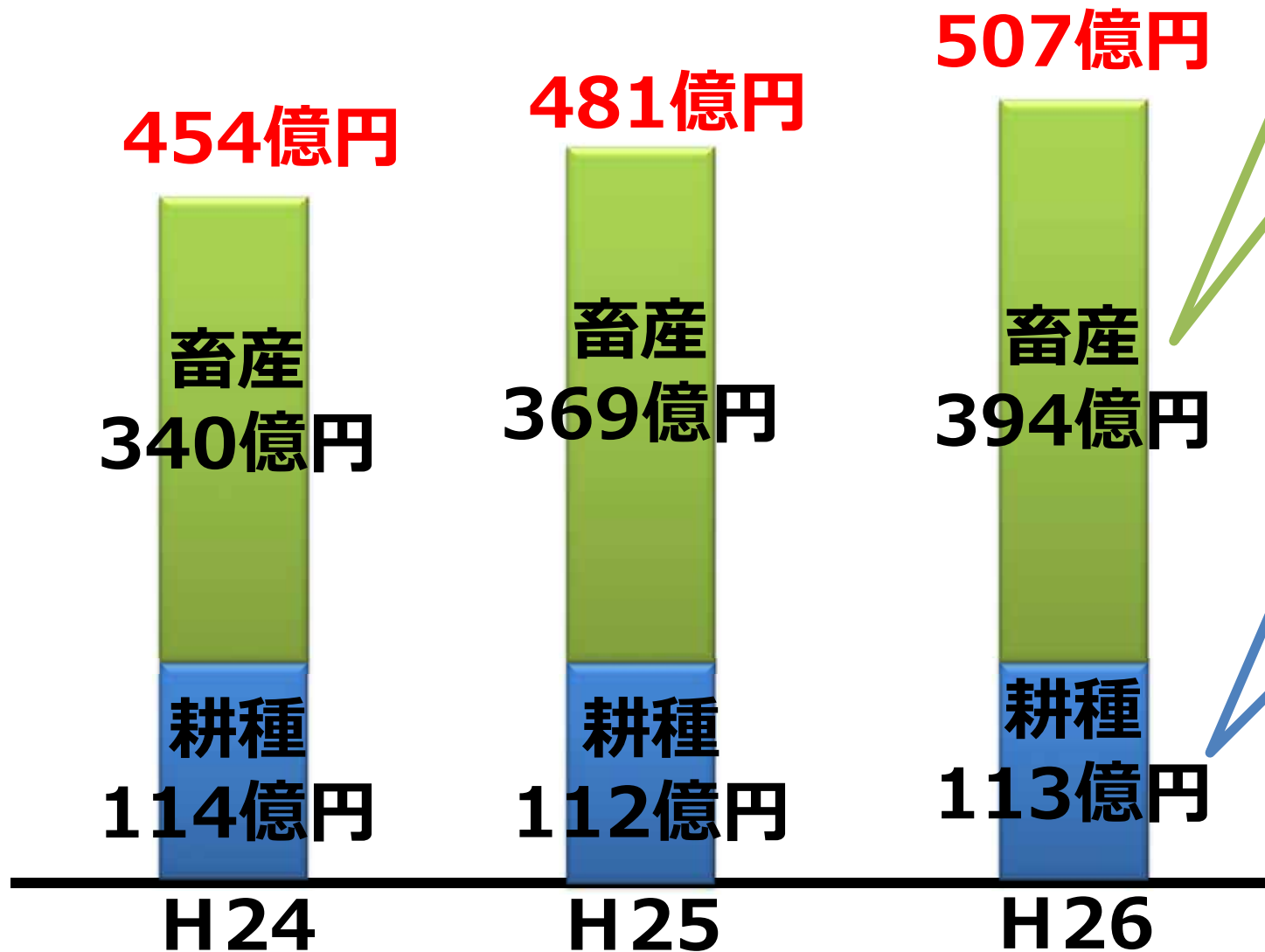


本市の基幹産業である第一次産業を機軸とした産業の
活性化が、本市の経済成長の原動力

- ・ 素材提供型の農業から高付加価値型農業への展開
- ・ 地域資源を活かした食品関連産業の誘致推進 など

「農業のまち」鹿屋の実態

<農業産出額>



<畜産内訳>

- ・ 豚 : 147億円
- ・ 肉用牛 : 135億円
- ・ 鶏 : 91億円
- ・ 乳用牛 : 21億円

<耕種内訳>

- ・ 野菜 : 55億円
- ・ いも類 : 22億円
- ・ 米 : 15億円
- ・ 茶 (生・加工) : 10億円
- ・ 花き : 10億円
- ・ その他 : 1億円

■かのや農業・農村戦略ビジョンの策定

- 農業・農村の将来像とその実現に向けた各種方策を盛り込んだビジョンを策定(H27.2月策定)

かのや 農業・農村戦略ビジョン



平成27年2月 鹿屋市

農業都市かのやの再生

地域雇用と所得
の増大

農村社会の
活性化

■ 農業を支える基盤づくり

○ 肝属中部地区畑地かんがい施設の整備

ダム（荒瀬ダム）、貯水タンク、
パイプライン整備などの大規模畑地
かんがい事業の実施



▲ 荒瀬ダム

- ・ 平成28年度末から一部通水
- ・ 平成38年度（予定）から全面通水

担い手の経営安定

水利用品目の面積拡大

高付加価値農業の推進

など

【受益面積】
肝属中部地区内（鹿屋
市、肝付町）1,537ha

■ 農業を支える基盤づくり

○ 農地の集積・集約の促進

- ・ 農地中間管理事業を活用した農地の集積
推進員の配置、モデル地区・重点推進地区の設定による集積の促進

＜集積実績（H27）＞
414筆522,936㎡

○ 降灰対策の推進

- ・ ビニールハウス等の施設、野菜洗浄機、飼料作物
収穫機等の機械導入助成 など

＜降灰対策の支援実績＞

年度	団体等数	補助額（千円）
平成26年度	7	132,393
平成27年度	5	112,548

■ 農業を支える基盤づくり

- **高収益な作物・栽培体系への転換の促進**
⇒ **生産性・販売額の向上** (産地パワーアップ事業等)
 - ・ **トラクター、マルチャー等の機械類の導入、集出荷貯蔵施設等の施設整備費用への助成** など

- **新たな農作物の導入促進**
 - ・ **新規作物導入に係る生産資材購入への助成**
【導入事例】 トレビス、花岡胡椒、桜島大根など

- **輪作の促進による耕地の有効活用**
 - ・ **輪作に挑戦する生産者に対する生産資材購入への助成**

■ 地域6次産業の推進

○ 地元食材を活用した新商品開発に対する支援

- ・ 産業支援センター、大隅よろず相談窓口による相談支援
- ・ 県大隅加工技術研究センターの活用
- ・ 商談会への出展支援

< 相談支援実績(H27) >

	件数				
		創業	公的支援 知的財産 など	商品開発 販路拡大 など	その他
産業支援 センター	183	42	50	84	7
大隅よろず 相談窓口	70	13	17	31	9

■ 地域6次産業の推進

○ 県大隅加工技術研究センター

野菜の加工・流通技術の研究や新商品の開発等を支援する拠点施設



▲ 県大隅加工技術研究センター
(H27.4月オープン)

【開発事例】



▲ あしたのおやつ
(乾燥野菜チップス) 32

■ 地域6次産業の推進

【商品化事例】

経済産業省の日本が誇る
べき優れた地方産品
(H28：500商材)に選定



▲オーガニック有機玄米
焙煎茶（玄米珈琲）

2016かごしまの
新特産品コンクールで
最高賞の県知事賞受賞



▲花岡胡椒

■ 地域6次産業の推進

○ 地元生産者と加工業者、飲食店等の連携による 鹿屋産食材を活用した加工品の商品化



▲かのや豚ばら丼弁当

▲かのやカンパチ漬け丼弁当

約8万食を
販売

全国主要スーパーへの販売

■ 地域6次産業の推進

最新の事例

Show-1グルメグランプリで
優勝した「カンパチdeリゾット」
をもとに開発

商品化

「カンパチdeドリア」

- ・ 南九州ファミリーマート
（全408店舗）で発売
- ・ 10月25日から11月21日
の期間に約6千食販売



▲カンパチdeドリア

■ 食の魅力発信

「かのやカンパチ」の産地化・銘柄確立



◀ カンパチジャック

- ・ カンパチの掴み取りや、販売の実施
- ・ 都市部（東京・大阪・福岡）での認知度向上

カンパチソング・ダンス▶

- ・ 新しい企画のPR事業
- ・ 運動会で踊られるなど、カンパチを応援する市民の輪が拡大



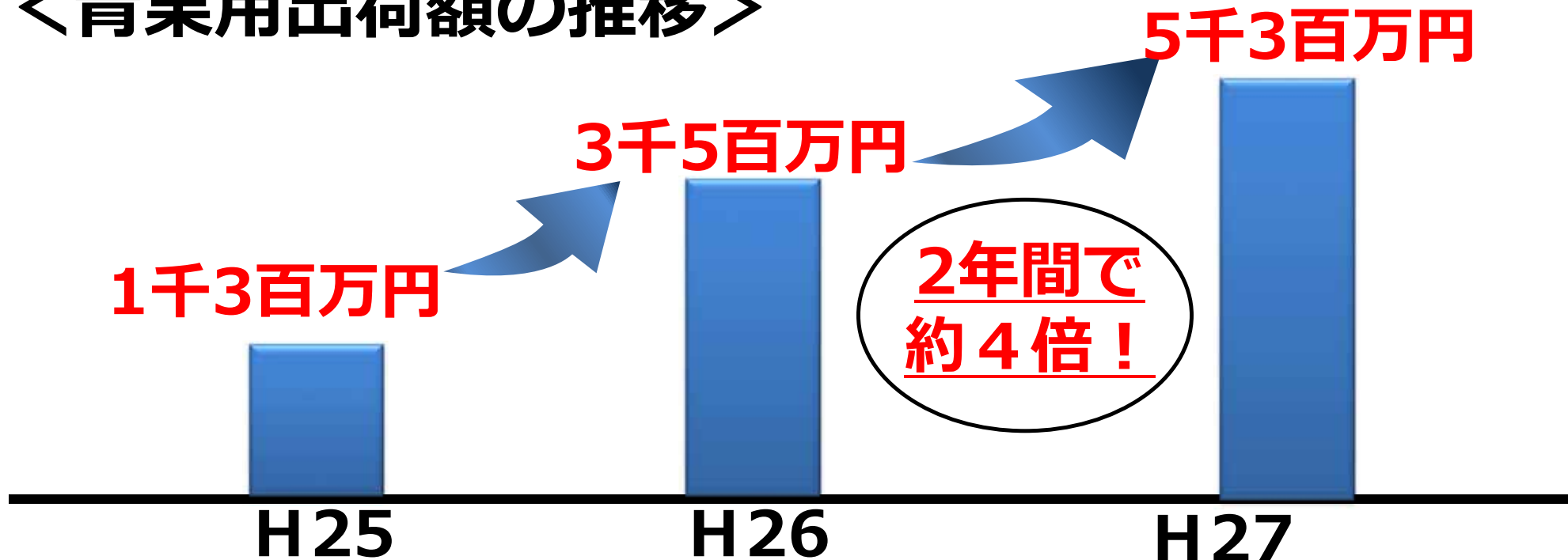
■ 食の魅力発信

「かのや紅はるか」の産地化・銘柄確立

- ・ 一定の基準をクリアし市場出荷されたものに対する奨励金の創設
- ・ 安定した苗を提供するための育苗施設の整備など



＜青果用出荷額の推移＞



■ 食の魅力発信

「かのや深蒸し茶」の産地化・銘柄確立



▲ 機能性緑茶「Dew」

○ 他産地との差別化

- ・ 女性をターゲットに機能性に特化した新商品の販売
- ・ 「グローバルギャップ」(国際的な安全基準)の取組

今年度、
2農家が取得予定

○ 全国に誇れる「かのや深蒸し茶」

県茶品評会において、

8年連続産地賞受賞 (～H27)

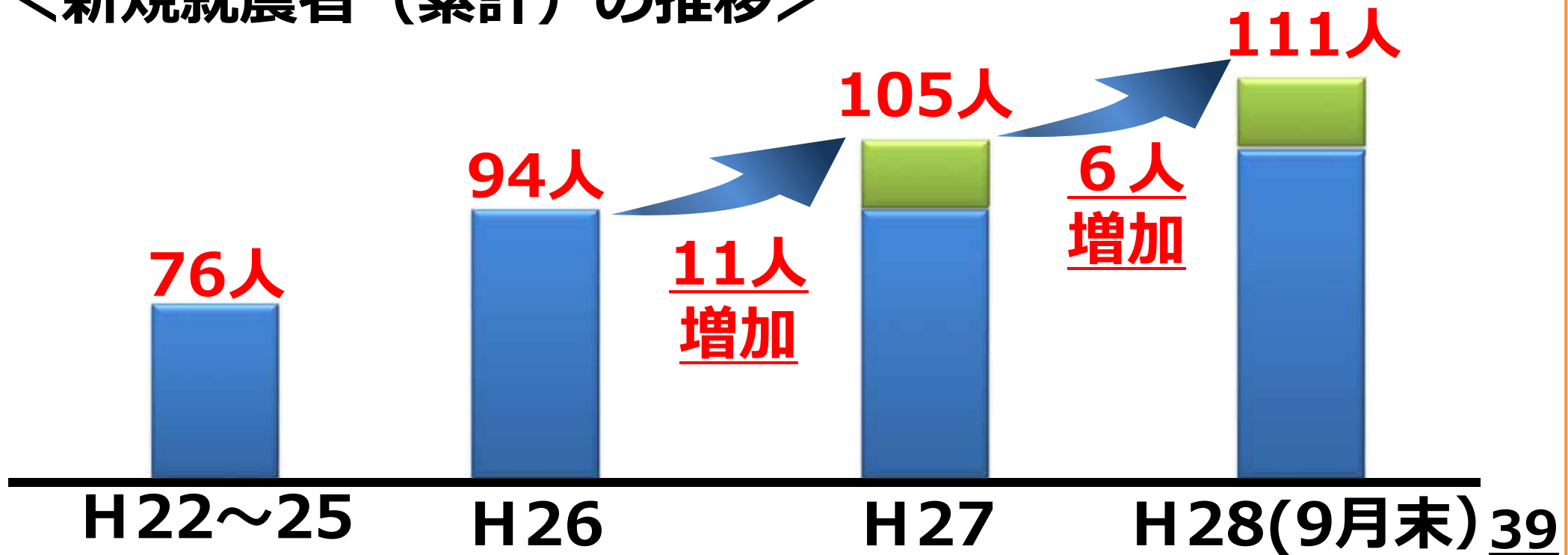
担い手の確保・育成

新規就農者の確保・育成

- 就農前の研修期間における生活資金や就農準備への助成など



<新規就農者（累計）の推移>



■かのや農業商社への取組

- 食品流通の川中（加工）・川下（流通・販売）の
オーダーに対応できる仕組みづくり

【これまでの取組状況】

- 農産物等の生産・出荷に係る関係者協議（H28.2～4月）
- 「かのや農業商社」が担うべき機能の実証
（複数の生産農家の連携による商談への対応など）

＜生産体制の強化＞

- ・機能性ニンジン「こいくれない」産地化の取組
- ・飼料用子実トウモロコシの生産実証

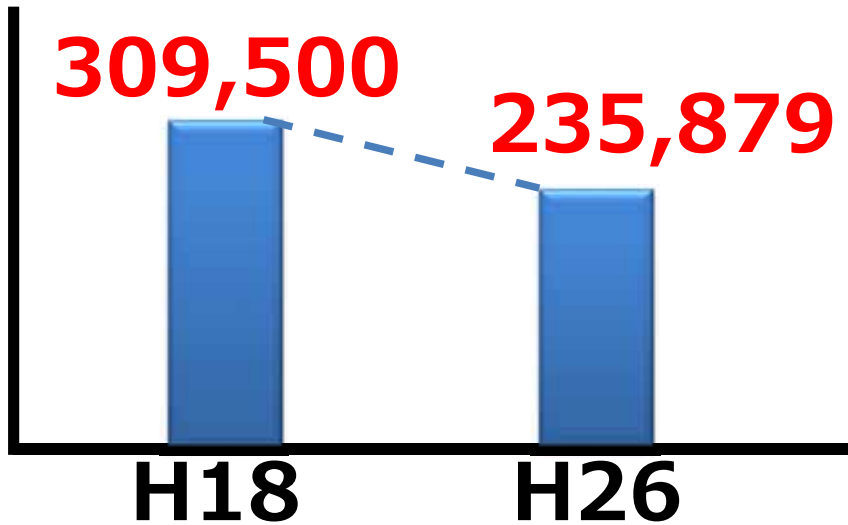
＜販路開拓＞

- ・生産農家の連携による都市圏青果卸業者との商談
（大口でのニンジン等取引）
- ・海外での商談会への参加及び市内事業者の出展支援

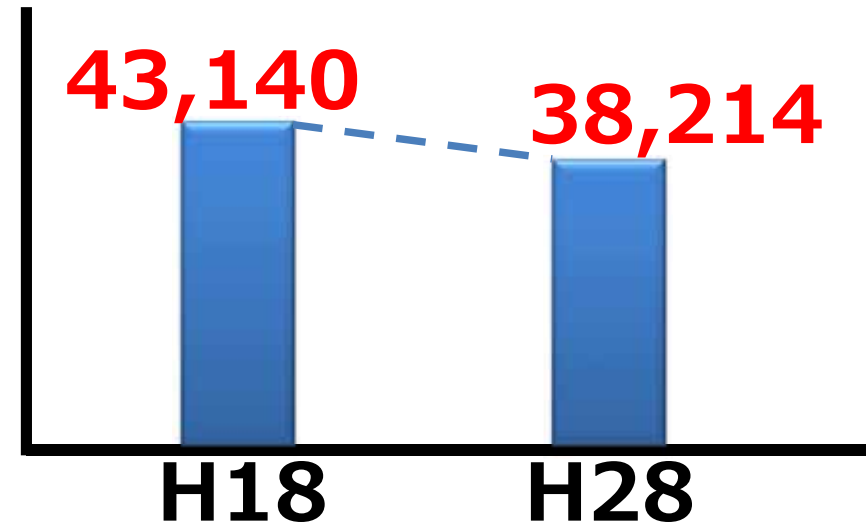
■ 「畜産のまち」鹿屋の実態

＜家畜飼養頭数＞

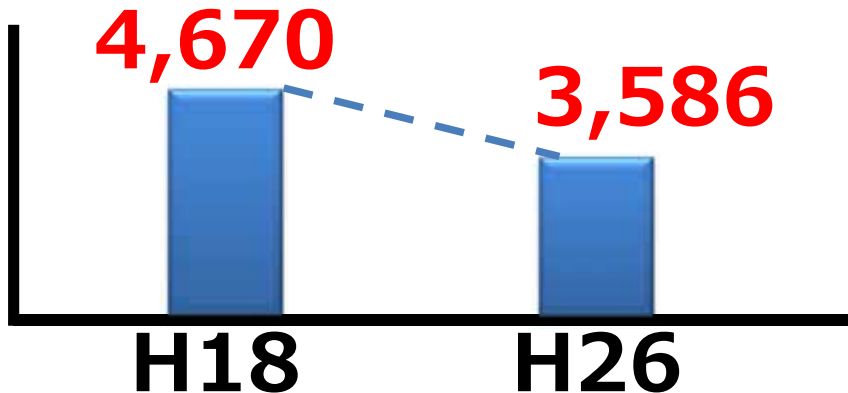
【豚（頭数）】



【肉用牛（頭数）】



【乳用牛（頭数）】



- ・ 豚、肉用牛、乳用牛の飼養頭数は県内1位
- ・ 国内有数の畜産地帯を形成

■ 畜産の振興

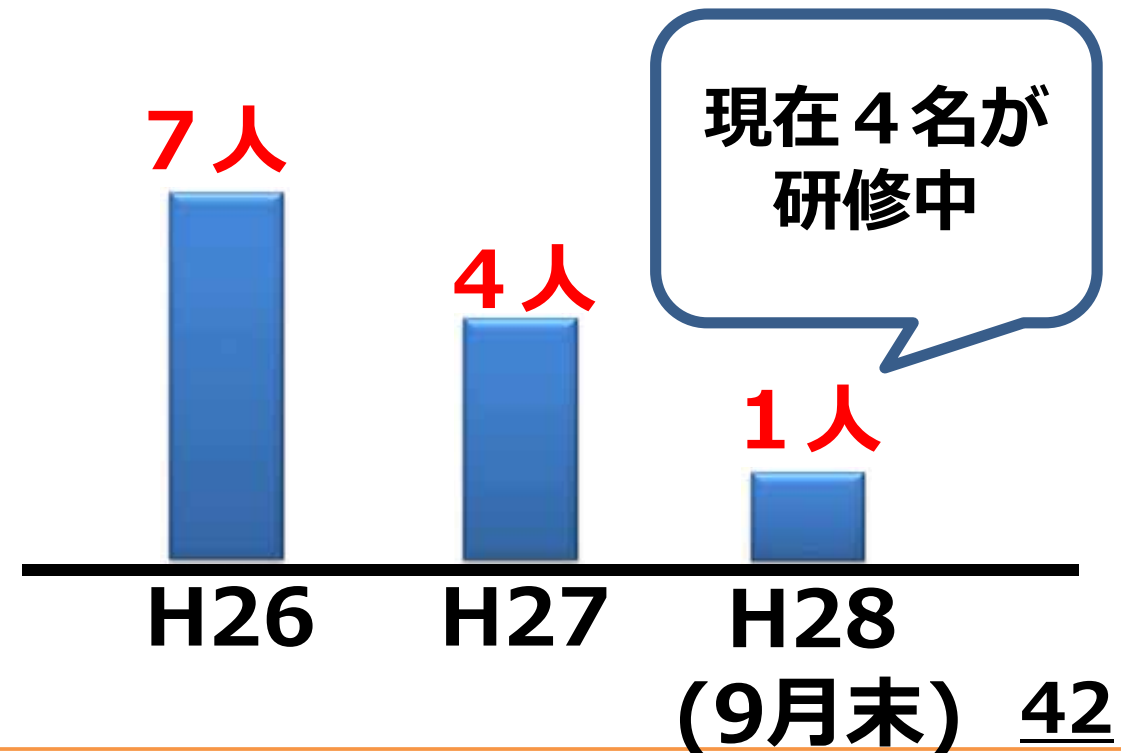
○ 生産基盤の強化

- ・ 規模拡大、経営維持への支援
(牛舎等整備への支援、高齢農家の生産維持奨励金など)
- ・ 担い手の確保 など



▲ 肉用牛牛舎整備事業

＜新規就農者の推移＞



■ 畜産の振興

○ 経営力の強化（畜産クラスター事業）

- ・ 畜産経営における収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備や機械整備を支援

① 中心的経営体の育成

- ・ 低コスト牛舎等の導入

② 鹿児島黒牛等の輸出拡大に向けた基盤強化

- ・ 低コスト牛舎の整備による規模拡大
- ・ 肥育成績のフィードバックによる商品力の向上

③ 自給飼料供給施設等の導入

- ・ 飼料生産の外部化による省力化
- ・ 栄養バランスのよい飼料の供給による生産性等の向上



■ 畜産の振興

○ 家畜改良の推進 (優良血統雌牛の導入・保留に対する助成等)



▲平成27年度 県畜産共進会

■ 畜産の振興

○ 全国に誇れる鹿屋市の畜産（本市生産者の受賞）

＜県ホルスタイン共進会＞

H27：8部門中6部門で1席獲得

H28：8部門中3部門で1席獲得

＜県畜産共進会＞

H27：グランドチャンピオン等

H28：九州農政局長賞等

＜県枝肉共進会＞

H27：グランドチャンピオン等

全国大会で鹿屋農高のホルスタインが、県勢として45年ぶりの快挙となる優等賞6席獲得

全国和牛能力共進会（H29:5年に1度）での更なる活躍を応援いたします！

■ 家畜防疫体制の強化

○ PED(豚流行性下痢)の まん延防止対策

- ・ 市内主要道路における
消毒帯の設置
- ・ 養豚全農家への消石灰配布
- ・ 公共施設等への消毒マット設置



▲ 消毒帯の設置

○ オーエスキー病の清浄化対策

- ・ ワクチン接種への助成

○ 初動防疫に必要な資材（消毒薬・液、防疫服等）の備蓄

○ 関係者間の情報共有

- ・ 鹿屋市豚病防疫対策協議会の開催
- ・ チラシや広報などによる注意喚起

■ 鳥獣被害対策

H26からの2年間の
総延長は約38 km !

貸出台数は
全部で40台

・ 侵入防止柵の設置

・ 箱わなの無償貸出



▲ 電気柵の設置



▲ 箱わなの設置風景

■ 鳥獣被害対策

・ 猟友会による捕獲活動



▲ 鹿屋南部猟友会・大根占猟友会 広域一斉捕獲出発式
(H27.10月)

■ 農業まつりのリニューアル

- ・ 開催場所を霧島ヶ丘公園へ変更（平成27年度～）
- ・ 内容の充実により「農業のまち」鹿屋を広くアピール

肉焼まつり



軽トラ市



これまでの約2倍となる
3万人以上が来場

農業5種祭り



■ 企業誘致の推進

補助金等の優遇制度や、トップセールス等による 企業誘致活動の展開

<立地企業の新増設件数>

- ・ H26 : 新設 1 件、増設 3 件
- ・ H27 : 増設 2 件



▲ ジェーエフフーズとの 立地協定調印式

【新增設に伴う 新規雇用者数】

- ・ H26 : 74人
- ・ H27 : 17人

■ 中心市街地の活性化

○ 空き店舗を活用した街の賑わいづくり

女性や若者の
視点を活かした
市民協働ショップ

～主なコンセプト～

- ・ 起業を目指す、女性や若者の支援、育成
- ・ 中心市街地を歩きたくなる魅力ある空間づくり



▲ KITADA SARUGGA (H28.1月オープン)

■ 中心市街地の活性化

○ 空き店舗を活用した街の賑わいづくり

本町周辺

H28.3月～
オープン



716 (なないちろく)

京町食堂



畑パン



■ 中心市街地の活性化

○ 空き店舗を活用した街の賑わいづくり

水神横丁通り

H28.10月
オープン



▲ 瀬口ビル

コーヒー
スタンド



持ち帰り用
サンドイッチ

■ 中心市街地の活性化

○ イベントによる街の賑わいづくり



▲ぶらり京町横丁（8月）

■ 中心市街地の活性化

○ イベントによる街の賑わいづくり



▲ リナフェスタ（5月）



▲ 冬華火（12月）

■ 中心市街地の活性化

○ イベントによる街の賑わいづくり

月1回の
定期マーケット



▲ 食と暮らしのマルクト@おおすみ

**戦略② 広域連携を積極的に
推進するまちづくりの取組
(広域連携)**

■ 広域行政の推進

○ 広域連携による産科医確保対策

<背景>

	平成5年	平成15年	平成20年	平成26年～
大隅地域の医療機関数	11	8	7	4
	平成9年	平成26年		
大隅地域の分娩担当医師数	16	6		

公的医療機関：1
民間医療機関：3

○ 大隅地域の課題

① 医師不足（出生千人当たりの産科医師数）

大隅：2.9人 県：7.8人 全国：10.8人

② 過重労働（3民間医療機関）

平均350分娩／人 > 日本産婦人科学会推奨150分娩／人

■ 広域行政の推進

○ 広域連携による産科医確保対策

- ・ 大隅4市5町の首長・議長・関係団体等で構成する協議会を設置(H26.7月)
- ・ 産科医確保について要望活動等を実施
- ・ 大隅地域助産師奨学資金制度の創設 (H28~)



▲ 大隅4市5町保健医療推進会議

平成28年4月、市内の
医療機関に新たに2名
の産科医が着任

■ 広域行政の推進

○ 消費生活相談の広域連携【H28.4月～】 (鹿屋市、東串良町、錦江町、南大隅町)

【相談実績 (H28年4月～9月)】

鹿屋市	： 409件	東串良町	： 8件		
錦江町	： 10件	南大隅町	： 8件	合 計	： 435件



▲ 連携に関する協定調印式



▲ 鹿屋市消費生活センター 60

■ 広域行政の推進

○ 広域観光の取組の方向性

< 推進体制 >

平成28年

おおすみ観光未来会議

- ・ 民間（宿泊、飲食、交通
農林漁業など）
- ・ 行政（大隅4市5町）

平成30年4月以降

民間主導体制の
スタート（予定）

< 具体的な取組 >

- ・ 広域観光戦略の策定（取組方針等）
- ・ 体験型観光メニューの販売
- ・ 各市町の地域資源の掘り起こし、磨き上げ など

鹿屋市⇒ 霧島ヶ丘公園、グリーンツーリズム、
戦争遺跡、スポーツ合宿など

■霧島ヶ丘公園の活性化

- ・市と協働して霧島ヶ丘公園の有効活用に関する民間事業者からの提案募集を実施

有効活用に取り組む
4社を決定

【提案事業の概要】

- ①アウトドアグッズ等のレンタル、ちゃりカフェ
- ②大隅広域観光案内所
- ③食品加工の体験学習施設等
- ④コンテナを活用した店舗群の設置

※H28から順次整備予定



▲ちゃりカフェ
(H28.8月オープン)

■グリーンツーリズムの推進

○農家民泊の受入促進

- ・ 農家民泊開業支援補助金の創設（H28）
- ・ 修学旅行等の誘客促進 など



▲修学旅行生とのお別れ式

■ 戦争遺跡の保存・活用



▲ 串良基地跡の
地下壕第一電信室

・ 鹿屋市指定文化財に
指定 (H27)

・ 駐車場、案内板の整備
(H27)



▲ 笠野原基地跡の
川東掩体壕

■ 戦争遺跡の保存・活用

- ・ 鹿屋平和学習ガイドの育成（認定者数：14名）



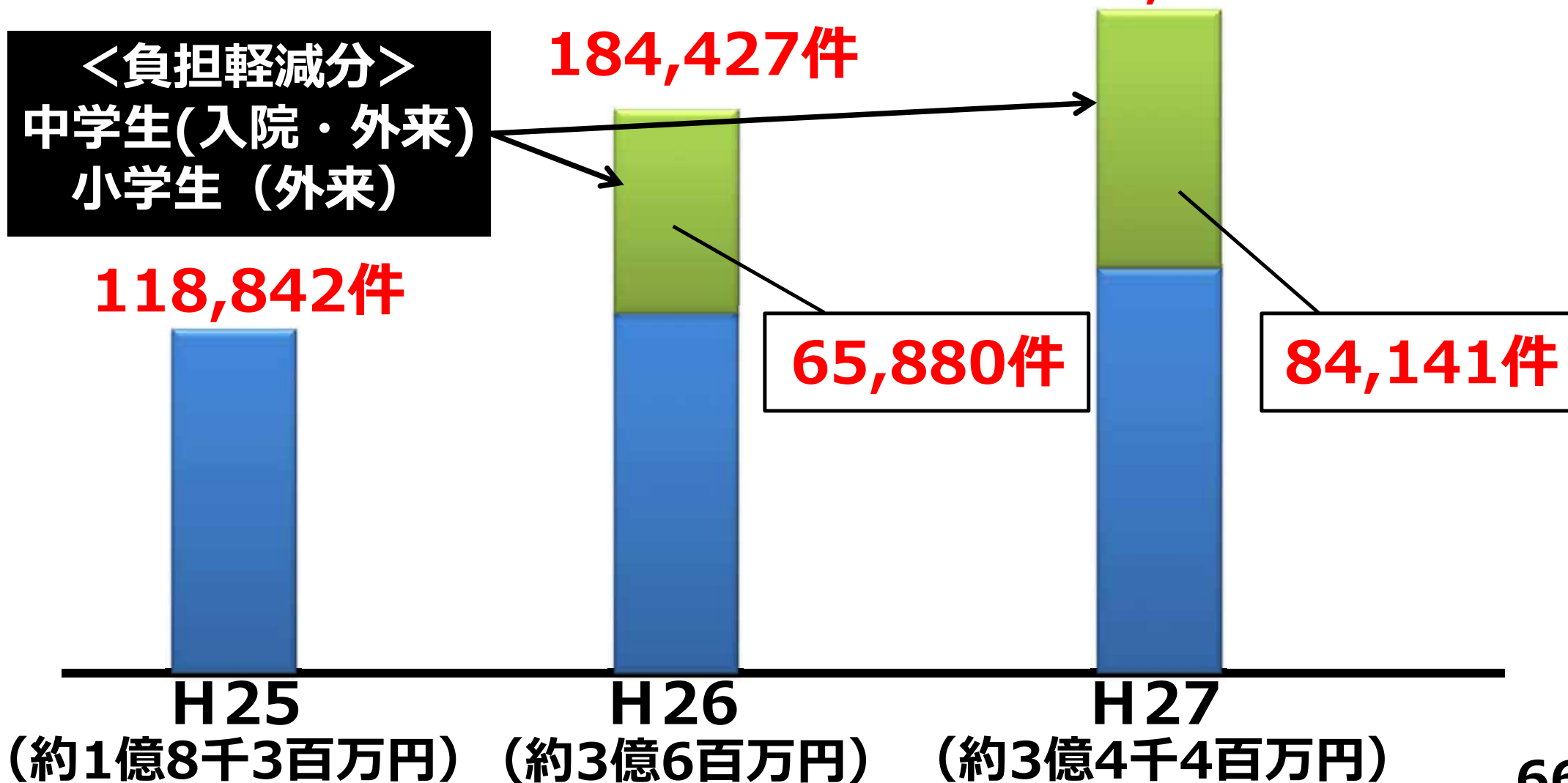
ツアー客など、
これまで約5千人に
ガイド案内を実施

▲ 修学旅行生へのガイド案内の様子

**戦略③ 笑顔あふれる
安全・安心なまちづくりの取組
(医療・福祉)**

○ 中学生までの医療費無償化（H26年度～）

＜市による医療費助成件数の推移＞



○ 子育て世代支援センターの設置（H28新規）

各種相談対応

- ・ 相談内容に応じて支援プランを提案
⇒658件(H28.10月末)

訪問型産後ケア

- ・ 乳房ケア、沐浴指導

母乳相談

パパママ教室



▲ 子育て世代支援センター
(愛称「すくすくルーム」)

※市保健相談センター内

○ 保育サービス等の充実・強化

・ 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場等）



市内6か所に設置。
年間延べ約2万人
の児童が利用。

▲ つどいの広場「りな」（リナシティかのや内）

- 一時預かり、病児保育、延長保育、放課後児童クラブなどの保育サービス等の充実・強化

- ファミリーサポートセンター事業

- 支え愛ファミリー住宅改修応援事業（H28新規）
平成28年度から新たに子育て世帯、三世代同居世帯の住宅改修に対する助成制度を開始
【実績（H28.10.28現在）】
 - ・ 子育て世帯：37件
 - ・ 三世代同居：10件

○ 桜ヶ丘子育て支援住宅整備



平成30年3月
供用開始予定

▲ 整備のイメージ

＜整備予定＞

- ・ 平成30年3月
供用開始予定
- ・ 整備戸数 40戸
- ・ 敷地内に
民間収益事業を誘致
(民間学童施設等)

P F I の導入により
市の財政負担が軽減

■ 地域包括ケアの推進

- **基幹型地域包括支援センターと地域の窓口となる
9か所のサブセンター開設（H28.4月）**
 - ・ 鹿屋市医師会との連携（運営委託）により支援体制強化
 - ・ 相談窓口が増えて、より便利に！



■ 地域包括ケアの推進

○ 認知症支援の体制づくり

- ・ 認知症支援のサポーターワーカーの養成
- ・ 認知症に関する身近な相談窓口「オレンジの窓」の設置
- ・ オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施 など

2年間で62名
を認定

市内10か所
で実施



▲ オレンジカフェ

■ ドライブサロンの取組

○ 無料バスによる買い物等の生活支援

市内3地区で
実施中



▲大始良地区ドライブサロン事業

○ 「鹿屋市健康づくり条例」制定（H28.4月施行）

生活習慣病予防、栄養（食）、運動などの健康づくりの取組により、市民の主体的な健康づくりを推進



■健康なまちづくりの推進

○健康づくりに関する主な取組

生活習慣病予防

- ・ 特定健診、がん検診の実施
(節目年齢の無料検診など)
- ・ 30歳代健康きっぷ事業
(子育て・働き盛り世代の
受診機会の提供)

身体活動・運動

- ・ 鹿屋体育大学との連携
による体力測定等の実施
- ・ 健康づくり教室の実施



▲ぴんぴん元気教室

栄養・食

高齢者の健康づくり

歯・口腔

など 75

**戦略④ 心豊かに学び、地域文化を
育むまちづくりの取組
(教育・文化)**

■ 国民文化祭の開催

- ・ 「第30回国民文化祭かごしま」2015の開催
- ・ 多彩な分野にわたる9つの事業を実施

市内外から
約6万5千人が来場



▲市民ミュージカル「花いくさ」

・ 市民が文化活動で活躍できる場の提供（H27～）

【開催実績】

H27: 3回

H28: 4回（予定）



▲市役所ロビーコンサート

■スポーツ施設の整備

- ・ 平和公園野球等屋内練習場の新設（H27.12月）
- ・ 今後も「鹿屋市スポーツ施設再配置計画」に基づき計画的な施設整備を実施

大隅地域初の
屋内練習場



▲屋内練習場（外観）

供用開始から9ヶ月
で延べ1万人が利用



▲利用風景

■スポーツ合宿まちづくりの推進

- ・産学官連携によるスポーツ合宿の推進
(かのやスポーツコミッションの設立)

県内初の取組

昨年は韓国の3つの
高校が合宿を実施



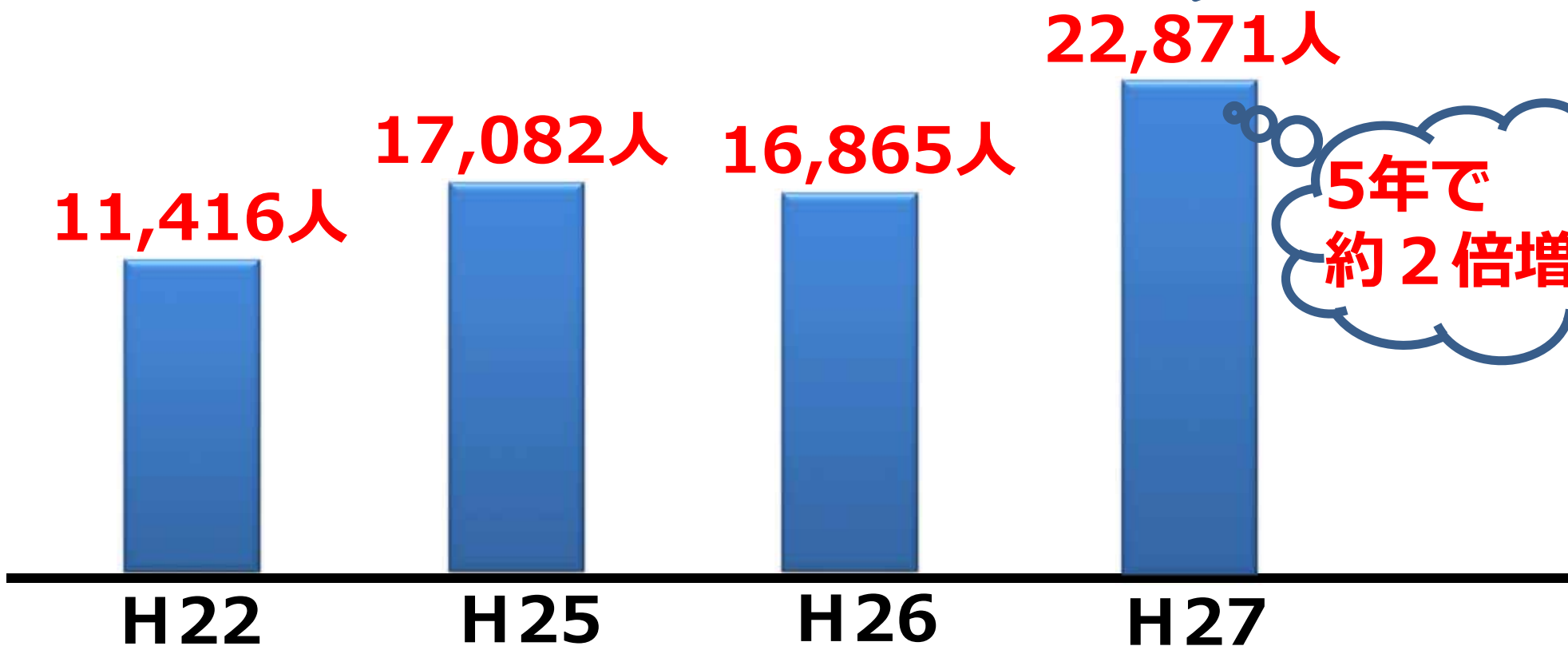
▲バレーボール交流事業



▲韓国高校野球の合宿

■スポーツ合宿まちづくりの推進

<スポーツ合宿者数の推移>



県内順位 (H27)

- 1位 鹿屋市
- 2位 志布志市
- 3位 薩摩川内市

5年で
約2倍増加

■かごしま国体に向けた取組

- ・市民スポーツ課内に国体準備室を設置（H28.4月）
- ・選手育成に向けたスポーツクラブ・強化スクールの発足（H27.6月）



- 【育成クラブ】
- ・ボート
 - ・テニス
 - ・ソフトボール
(中学男子)
 - ・カヌー
 - ・サイクリング
 - ・ボクシング

- 【選抜クラブ】
- ・バドミントン
 - ・バレーボール

▲スポーツクラブ・強化スクール合同発足式

○「CIEL BLEU 鹿屋」等との連携による 自転車まちづくりの推進



▲「CIEL BLEU鹿屋」結成
記者会見（H28.2月）



▲かのやサイクル
フェスティバル
（H27.12月）

■ 鹿屋体育大学との連携

○ 地元小中学生等との交流促進

- ・ 鹿屋体育大学見学ツアーの実施（H28～）
- ・ 小中学校の授業（体育）への生徒派遣（H28～）



▲ 鹿屋体育大学見学ツアー（H28.8月）

■ 鹿屋体育大学との連携

○ スポーツパフォーマンス研究棟(H27.9月) の活用

- ・ トップアスリートの合宿誘致
- ・ 選手育成のための運動能力調査、トレーニング指導など



▲ スポーツパフォーマンス研究棟の利用風景

■ 英語教育の充実・強化

- ・ 教育課程特例校指定（英語特区）による小学1年生からの英語教育の実施

市内全域での実施は
県内で鹿屋市のみ！



▲ 小学校低学年の授業風景

■ 英語教育の充実・強化

○ 英語の実践的コミュニケーション能力の育成

最優秀者には副賞として海外研修派遣を実施（H26～）



▲ 英語暗唱弁論大会



▲ イングリッシュキャンプ

■ 平和教育の推進

○ 「平和の花束」の実施(H26～)

九州管内の小中高等
学校から1,933点の
メッセージ応募(H28)



▲ 「かのや未来創造プログラム－平和の花束2016－」 87

■ 鹿屋寺子屋事業

- ・ 大始良地区学習センターと花岡地区公民館で鹿屋寺子屋事業を開始
- ・ 学びと地域の方々との交流を通じて、子ども達の学力向上と郷土愛醸成



学力向上

▲ 大始良夢現塾



郷土愛醸成

▲ はなおか未来塾

■ 鹿屋女子高の活性化

○ 活性化に向けた基本方針の策定と、 基本方針に基づく取組の推進

- ・ 有識者等で構成する検討委員会の開催
- ・ 在校生、中学生、保護者へのアンケート調査 など

基本方針の取りまとめ（H28年度中）

● 新たなカリキュラム
（幅広い進路への対応）

● 機能的で魅力ある
施設整備

● 地域人材の活用と連携

● 部活動の充実と強化

■ 学校施設の整備

○ 学校施設の耐震化の推進

平成27年度に全小中学校の耐震化が完了

○ 児童生徒数の増加に対応した施設整備

- ・ 笠野原小学校
- ・ 寿北小学校
- ・ 鹿屋東中学校



▲ 笠野原小学校臨時校舎

○ 給食室、給食センターの老朽化機能低下への対応

- ・ 北部学校給食センターの整備

**戦略⑤ 安全で快適に暮らせる
まちづくりの取組
(生活環境)**

■ 災害に強いまちづくりの推進

○ 防災訓練の充実・強化

- ・ 地域ごとの防災訓練の実施、防災マップ作成研修
(土砂災害訓練、津波避難訓練、水防訓練など)

土砂災害警戒区域
の全地域で実施



○ 消防団の活性化

・ 女性消防隊「ローズ隊」の結成（H28.7月）



現在12名が所属
隊員募集中！

○ 消防団の活性化

- ・ 消防操法大会を通じた消防技術の向上と士気の高揚

【H28年度 鹿児島県消防操法大会結果】
(小型ポンプの部) 準優勝 平南分団



▲ 鹿屋市消防操法大会 風景

○ 消防防災体制の充実

- ・ 消防自動車、消防車庫の計画的な整備
- ・ 安全装備品等の配備 など



▲ 消防自動車入魂式（荒平分団）

■ 通学路等の安全対策

- ・ 寿小学校周辺における「ゾーン30（速度規制）」（H27）
- ・ 小学校周辺の横断歩道のカラー化（H28～） など



▲ゾーン30の道路表示



▲ゾーン30の供用開始式

＜空家対策の背景＞

- ・ 適切に管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響
- ・ 地域住民の生命、身体、財産の保護、生活環境の保全のため対応が必要

「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行(H27.2月)

空家等の情報収集

空家等対策計画の策定

特定空家等に対する措置

■ 危険空家の適正管理

解決済：270件
未解決：401件

○ 管理不全な空家：671件

※町内会や市民から苦情、相談等で把握した件数(H23～28)

○ 危険空家解体撤去工事補助金の創設 (H26)

<解体補助の実績>

H26：32件

H27：53件

H28 (9月末)：56件



▲ 解体前



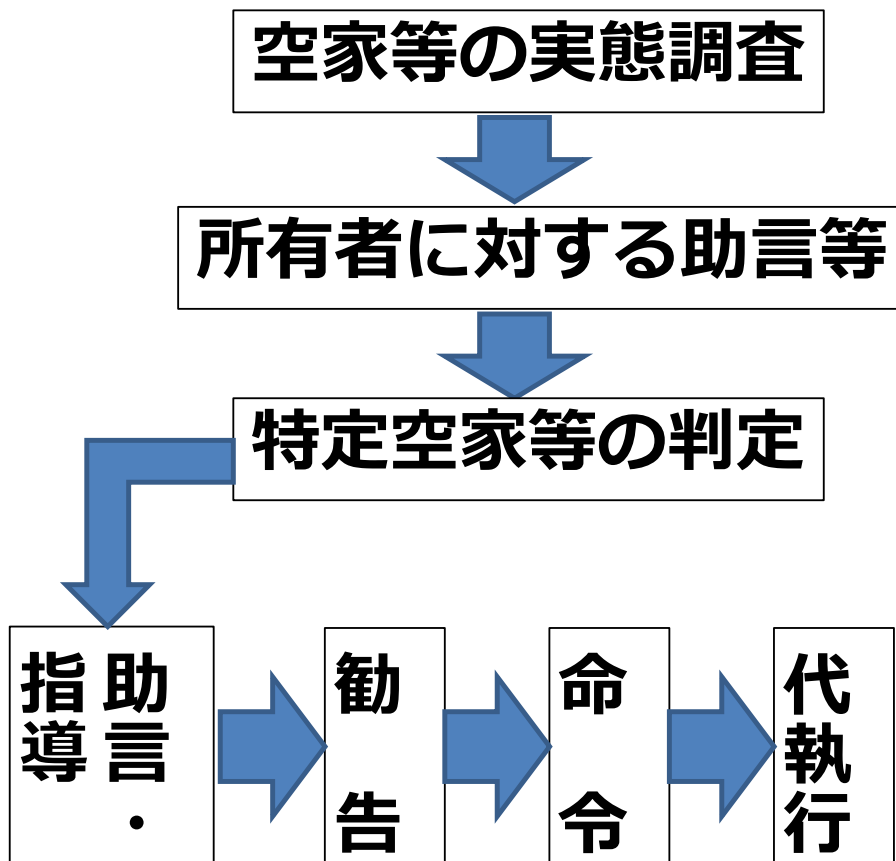
▲ 解体後

■ 危険空家の適正管理

○ 鹿屋市空家等対策協議会の設置(H28.9月)

空家等対策（特定空家等への措置等）について、
専門的な視点からの意見を聴取

< 特定空家等への対応フロー >



▲ 第1回鹿屋市空家等対策協議会（H28.9月）

■ 移住・定住対策の推進

登録物件数
39件 (9月末)

- ・ 空き家バンク制度の創設 (H27)
- ・ 移住・定住相談員の配置 (相談窓口のワンストップ化)
- ・ 移住体験ツアーの実施

< 移住実績 (H27~) >

相談窓口等を通じた移住件数 : 11件 (19人)

参考

AERA(アエラ)
2015年9 / 14号

子育て世代 ★ ★ ★
高 齢 者 ★ ★ ★

- ・ 豊かな食材を育む自然環境
- ・ 市街地には商業施設・病院
教育機関などが充実。

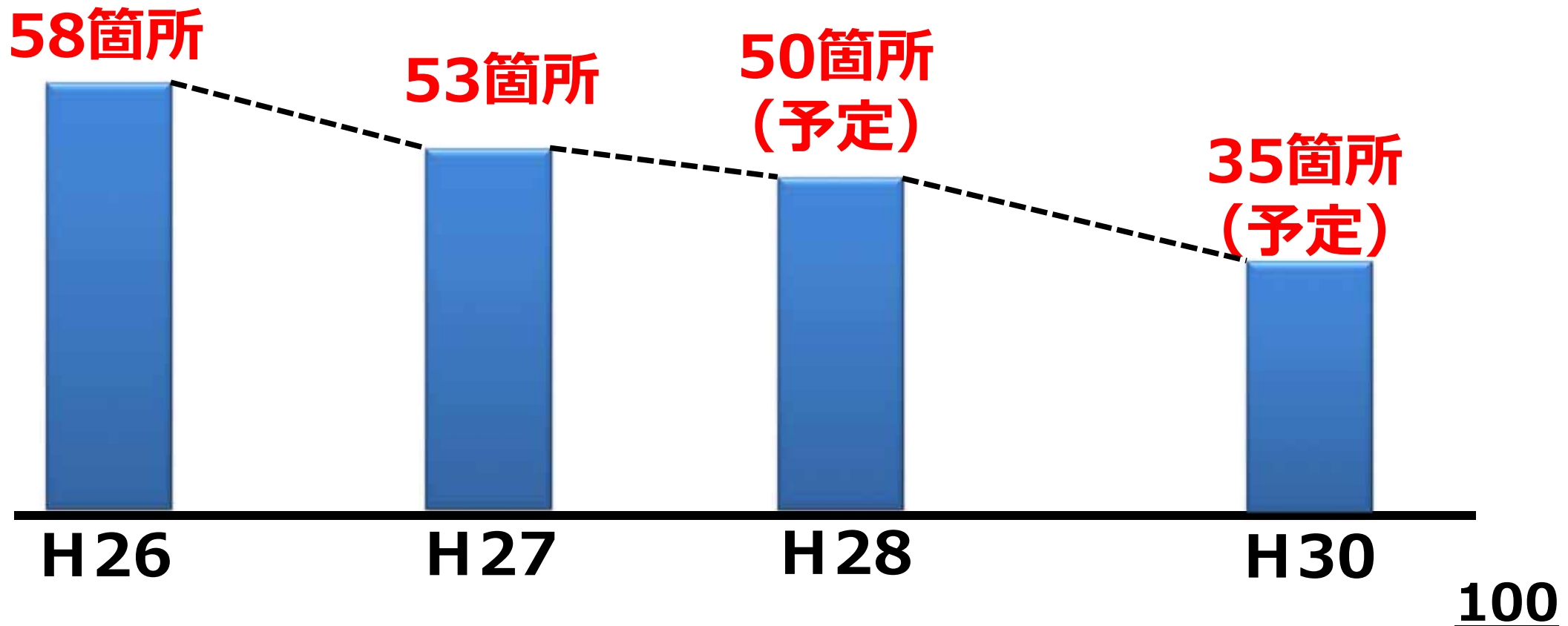
“ほどよい地方都市”



■ 雨水排水対策の推進

- 「鹿屋市総合雨水排水対策事業計画」(H26策定)に基づく、計画的な整備推進

【冠水改善（箇所数）の状況】



【改善事例：札元1丁目交差点付近】

整備前：H26.6月
34.5mm/h

整備後：H28.7月
43mm/h



■ 高規格幹線道路及び域内主要道路の整備促進

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料

- 東九州自動車道（鹿屋串良～曾於弥五郎）、大隅縦貫道（串良鹿屋道路）の開通（H26年12月21日）



▲ 開通式典(H26.12月)



▲ 開通記念プレイイベント
「Oh! おおすみ たまRUN」
(H26.12月)

■ 高規格幹線道路及び域内主要道路の整備促進

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料

○ 大隅縦貫道の整備促進

・ 大隅縦貫道の吾平道路の事業採択（H27.4月）



▲ 大隅縦貫道整備促進決起大会 (H27.8月 吾平町)

■ 道路環境の維持・整備

○ 穴ぼこなどの補修、樹木伐採による道路環境の整備

【施工箇所数】

H26 : 688

H27 : 801

H28 : 740(10月)

- ・ 市道定期点検の実施（職員、直営作業員による点検）
- ・ 除草伐採等の維持管理（直営作業員29人7班体制）
- ・ 穴ぼこなどの危険箇所の通報に関する協力依頼
（広報かのや、防災行政無線等での周知）

【維持修繕の実績】

	平成26年度		平成27年度	
	路線数	金額	路線数	金額
舗装修繕・ 新設工事	60	1億1,152万円	57	1億456万円
側溝修繕・ 新設工事	22	3,308万円	20	5,093万円

■ 下水道等の整備

○ 公共下水道等の整備による生活排水対策 (単位：人)

	汚水処理施設	区域	整備状況 (H27)	
			対象	整備済
①	公共下水道	主に市街地区域	24,600	17,672
②	合併処理浄化槽	①③以外の区域	78,186	51,965
③	農業集落排水	輝北の一部地域	822	822

< 汚水処理施設 (上記①～③) 普及に向けた取組 >

- ・ 公共下水道の接続に対する助成
- ・ 小型合併処理浄化槽の設置に対する助成
- ・ 農業集落排水の老朽化に対する補修

【実績(H27)】
 基数：424基
 助成：約2億円

■ 畜産環境対策

- ・ 消臭効果のある資材を培養し、畜産農家へ無償配布
- ・ 市職員、巡回パトロール員による巡視指導
- ・ 地域環境に配慮したウィンドレス豚舎の整備推進



▲ 畜舎の臭気測定



▲ ウィンドレス豚舎整備

■ 町内会の活性化

○ 町内会活動支援の充実・強化

交付金・補助金	実績(H27)	
	町内会数	交付額
広報誌配布等、市の委託事務に対する交付金	152	約1億248万円
自治公民館の整備費に対する助成	29	約881万円
地域課題解決、地域活力推進を図る活動への助成(H27～)	85	約772万円
放送施設等の撤去に要する経費への助成(H27～)	10	約352万円

＜町内会活力推進交付金の活用事例①＞



▲ 高須駅100周年記念式典

＜町内会活力推進交付金の活用事例②＞



▲ウォーキング大会（永野田町）

○ 地域コミュニティ協議会の推進

背景

- ・ 高齢化、過疎化等による、地域課題の多様化
(高齢者の見守り、空家対策など)

住民が主体的に話し合い、
地域の課題解決に向けた
取組を推進

多様化する地域課題への
解決手段

地域コミュニティ協議会

- ・ 美里吾平コミュニティ協議会の設立 (H26.7月)
- ・ 高隈地区コミュニティ協議会の設立 (H27.7月)
- ・ 地域活性化に向けた取組 (交流の促進等)
- ・ 日常生活で困っていることの改善に向けた取組

○ 高隈地区コミュニティ協議会の取組

ツアー受入実績

H26 : 6回 201名

H27 : 7回 227名



▲まごころツアー
(地元ガイドによる谷田滝散策)



▲まごころツアー
(山菜弁当の提供)111

○ 美里吾平コミュニティ協議会の取組

吾平郷中教育の取組



▲ 美里あいら塾
(テーマ「神話とそば」)

全国から
23組90名が参加



▲ ちびっこのりだー夏合宿
in 神野小学校

その他、重要課題への 取組について

<主な経過①>

年	月日	内容
H27	5.18	防衛省 原田政務官来庁（訓練概要説明）
	6.4	鹿屋市基地関係連絡協議会
	7.11 ~14	住民説明会（5会場）
	8.24	デモフライト（KC-130、P-3C）
	9.29	鹿屋市議会 米軍機訓練移転受入賛同決議
	10.30	米軍機訓練移転受入の表明
	11.5	住民説明会（訓練移転受入の説明）

<主な経過②>

年	月日	内容
H28	2.2	九州防衛局と協定書締結
	3.16	中谷防衛大臣との面談



▲KC-130のデモフライト



▲住民説明会（リナシティ）

＜鹿屋基地における空中給油機KC-130の訓練内容＞

訓練名	訓練内容	訓練回数
離着陸訓練	日中及び夜間に、KC-130、1機がP-3Cと同じ場周経路を飛行し、タッチ・アンド・ゴーや滑走路上の特定の位置に停止する訓練	<u>日中と夜間に、それぞれ月8回程度、1回当たり4時間程度を予定</u>
地上給油訓練	日中及び夜間に、地上に駐機したKC130からCH53等のヘリコプターやオスプレイに給油を行う訓練。(1回の訓練当たり、2～4機を予定)	<u>月2回程度、1回当たり6時間程度を予定</u>
荷下訓練	KC-130後部ハッチを開けた状態のまま、地上を走行(時速15km程度)しながら、貨物用のパレットを下ろす訓練。	<u>月2回程度、1回当たり4時間程度を予定</u>

※原則、日帰りの訓練

■ 米軍再編問題への取組

<KC-130のローテーション展開に関する協定締結>

- ・ 市民の不安や懸念への対応を防衛省と協議し、防衛省の回答が確実に履行されるよう、九州防衛局と協定を締結

【協定事項】

① 訓練内容等について

- ・ 国は、訓練拡大、米軍基地化を考えていない
- ・ 訓練日数の縮減、訓練時間の短縮を米側に申入れるなど努力する。

② 騒音対策について

- ・ 国は、騒音測定装置を設置し騒音状況の把握に努め、騒音の状況を踏まえ、環境整備法等に基づき各種施策を講じる。

【協定事項】

③ 安全対策について

- ・ 事件及び事故が発生した場合、鹿屋市等と連絡体制を構築するとともに、国の責任において適切に対処。

④ 情報提供について

- ・ 鹿屋市に対して、騒音対策・安全対策等、鹿屋市からの要望に係る情報について適宜提供する。

⑤ 地域振興策について

- ・ 鹿屋市の具体的な要望を踏まえ、環境整備法等の枠組みを活用し、最大限の協力を行う。



協定事項が着実に実行されるように進行管理を行い、場合によっては国への要請を実施

■ 台風16号被害の状況

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料

台風の最接近	平成28年9月20日(火) 午前0時すぎ (南大隅町付近)
台風の規模	中心気圧 965hpa
雨量(最大値) 19日10時~20日5時	累積雨量 341ミリ 時間雨量 127ミリ (観測地点: 輝北総合支所)
風速(最大値)	38.3m/秒 (観測地点: 鹿屋農高)
避難者(最大時)	98世帯 137名 (畳・エアコン等、設備の充実した施設16箇所を第一次避難所として開設)
人的被害	負傷者 8名 (死者・行方不明者なし)

■ 台風16号被害の状況

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料

住宅被害	全壊 3 棟 (住家2・非住家1)、 一部損壊 2 棟 浸水 (床上: 49件 、床下: 46件)
橋梁等の被害額 約31億円	橋梁 8 件 (流失6橋、損壊2橋) 市道法面崩壊等335路線
農林水産被害額 約27億4千万円	農業関係 ：水稻、施設野菜・花きの葉茎痛み 畜産関係 ：鶏(約6万羽)、豚(約1千頭) 畜舎倒壊、飼料作物等 水産関係 ：カンパチ(約2万3千匹) 等 農地関係 ：水田への流木・土砂流入、農道の法面崩壊 等

■ 台風16号の被害現場の状況

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料



▲ 上高隈町 重田橋流失



▲ 高隈ダム



▲ 輝北町 荒平橋付近



▲ 串良町 生栗須

	対 応		対 応
①	ボランティア活動 (工業高校、体育大 等)	⑥	義援金箱の設置 (市庁舎、社協、コンビニ)
②	保健師派遣 (心と健康チェック)	⑦	市税減免措置 (固定資産税・市県民税)
③	公営住宅等への被災者 受け入れ	⑧	社協による支援物資配付 見舞品セット配付 等
④	地元企業からの支援 (仮設トイレ用凝固剤 等)	⑨	消毒作業の実施 (浸水被害住宅・店舗 等)
⑤	閉庁日の窓口開設 各種相談、証明発行	⑩	見舞金の支給 (甚大な住宅被害者へ)

■ 災害復旧対応状況及び今後の対応

9～10月

災害復旧
補正予算対応

9月: 6億2百万円
10月: 5億5千万円

道路・橋・公園
等の緊急的な
復旧工事に対
応

激甚災害法の
適用(10/26)

国庫補助率を最高95%まで嵩上げ
(通常50～65%)

- ・ 農地、農業用施設、林道等の災害復旧事業へ対応

■ 災害復旧対応状況及び今後の対応

2016.11.4 鹿屋市「市政報告会」資料

11月～

(現在)

- ・ 測量・設計の実施
- ・ 地元への説明・意見交換

国の災害査定(工事費算定)

- ・ 12月中旬～来年1月(予定)

■ 災害箇所(金額、規模等)に応じた予算措置
(12月・3月補正、H29当初予算に振分け)

高隈ダム流木
撤去(11月～)

笠野原土地改良区による撤去作業